

芭蕉と豊橋

- 豊橋市内に点在する芭蕉の句碑 -



松尾芭蕉の紀行文「笈の小文」の中に吉田（豊橋）に立ち寄りの記述があり、市内にはそれに関連した多くの句碑が存在します。それらを通して芭蕉と豊橋とのゆかりを知り、地域の魅力を再確認してみるのはいかがでしょうか？
また、戦後80年に際し、豊橋空襲で焼失した芭蕉の書簡（手紙）についても学びます。

令和7年 9月2日 笈の小文

9日 豊橋市内の芭蕉句碑

【全3回】

【すべて火曜日】 16日 豊橋空襲で焼失した芭蕉書簡

時 間 13:30～15:00

対 象 者 どなたでもご参加いただけます

参加費 無料 定 員 20名（抽選）

会 場 青陵生涯学習センター 第2会議室

申 込 〆切日までに電話又はFAXにてお申し込みください。
その際①氏名、②〒住所、③電話番号、④年齢をお伝えください。右記WEBフォームからも可能です。

〆 切 8月20日（水）



講 師

Koike Yasutoshi

小池保利さん



東海解釈学会副会長、国語学懇話会副会長、芭蕉の会主宰

豊橋市生まれ。愛知大学国文学専攻科にて大磯義雄教授から芭蕉の俳諧の指導を受ける。卒業後、地元の中学、高校で国語教師。愛知大学大学院修士課程修了後、国内の大学にて非常勤講師。海外（中国）の大学にて約10年間日本語教育に携わり、日本古典文学の授業や俳句の実作指導も担当。

現在は、万葉集、芭蕉などに関する講演・研究発表や論文執筆などをなさっておられます。

